

平成29年度第5回多摩市一般介護予防事業評価委員会

要点録

平成30年1月25日

日時：平成30年1月25日（木曜日） 15時00分～17時00分

会場：多摩市役所 特別会議室（本庁舎3階）

出席者：明石のぞみ委員長 内田達二委員 白井弘三委員 池田由美子委員

中村和代委員 丹羽雅子委員

大淵修一オブザーバー

欠席者：田中千秋副委員長

事務局：高齢支援課 田島介護予防推進係長 水谷主任 三浦主任、佐藤主事

健康推進課 五味田主査

保険年金課 田中主任

国士舘大学体育学部 永吉英記准教授 齋藤初恵研究員

介護予防による地域づくり推進員 桐林理学療法士

公開区分：公開

傍聴者：1名

報告

（1）フレイル予防事業第1～4回検討チームの振り返り

- ・フレイル予防事業のコンセプトは、市民が取り組み、生活に密着したもので、チェックを受けて太鼓判をもらうポジティブなもの
- ・測定は2段階に分けて行なう。最初の測定をファーストチェック、次の測定をセカンドチェックと呼ぶ
- ・ファーストチェックで該当しセカンドチェックにつなぐ割合を7割程度と想定する
- ・セカンドチェックで該当した場合は該当項目に対応する行動変容につながるよう、地域包括支援センターによるフォローや体験プロジェクト等に案内する

（2）フレイル予防事業測定会実施報告

- ・事業を国士舘大学に委託し実施

- ・測定会は2回行っている
- ・測定会1回目は、平成28年10月28日に国士舘大学の学園祭の中で実施。大規模会場のため、体験プロジェクトコーナーを設置した。参加者は女性が多かった。ファーストチェックの該当が多い項目は、運動機能と認知機能だった。セカンドチェックは認知機能の該当が多い。ファーストチェックからセカンドチェックにつながったのは54.5%だった。会場の様子としては、学生がスタッフでいたため活気があり、参加者からも好評だった。また、体験プロジェクトでリーダーがコグニサイズを行なっていたので、あそこに行きたい、という参加者もあり、項目に該当されていない方も参加できるようにした。また、セカンドチェックで該当した方も楽しみにしながら体験プロジェクトに参加していた。口腔機能は吹戻しを使ったり、輪になって口腔トレーニングを行い楽しく実践できた。太鼓判を押された参加者は喜んで帰られており、3名程度介護予防リーダーの勧奨を行なったが、これについてはつなげることは難しかった。
- ・測定会2回目は、平成28年11月19日に東寺方自治会館にて老人会の定例会の中で実施。参加者は男性の方が多かった。ファーストチェックで基準に達していない方も、セカンドチェックを行なっている。ファーストチェックの該当が最も多い項目は、運動機能、次に認知機能。セカンドチェックは、認知機能、次に運動機能の該当が多い。会場の様子としては、今までおたっしや健診を行ってきた老人会だったため、TFPP（多摩フレイル予防プロジェクト）に関しても定期的な確認の場として測定会を行なえた。
- ・現在、測定会は2回までしか行えていないため、中間報告になるが、1回目と2回目の結果をまとめている。ファーストチェックを受けた63名の中で太鼓判がついたのは31名と半数程度だった。この31名の中でチェックが1つ付いた方をセカンドチェック予備軍と考え項目を見ると、認知機能が運動機能に該当している方が多い。セカンドチェックは⑩の転倒に対する不安と⑥の手すりを使っているか問う質問に該当する方が多い。ファーストチェックで該当してないが、セカンドチェックで該当する方もいた。

協議

(1) フレイル予防事業ファースト・セカンドチェックの判定基準・実施方法について

【協議事項について】

ファーストチェックからセカンドチェックへ進む参加者の割合は、今までの委員会の想定では7割程度としていたが、測定会を実際行なったところ5割程度となった。このことを含め、判定基準や実施方法について、協議していただきたい。

【協議内容】

- ・東寺方ではファーストチェックとセカンドチェックを両方やったが、ファーストチェックで該当なくセカンドチェックで該当している食い違いのケースもあった。試行という形で両方やって検証してみてはどうか
- ・ファーストチェックで1つでも該当すればセカンドチェックで拾えている。該当2つでなく1つ以上でセカンドチェックにつなぐことにしてはどうか
- ・ファーストチェックの社会参加を問う質問に該当していなくても、セカンドチェックでうつに該当される方もいる。ファーストチェックに、自分に活力があるか問う質問を追加するとよい。ファーストチェックは、この質問を追加し、計13問で試行的に行なうこととする
- ・BMIはスクリーニングの感度を上げるという意味で21.5に設定してはどうか
- ・栄養のプロジェクト体験コーナーで、人が多く来てしまい案内が追いつかないことがあったと聞いている
- ・測定実施後の体験プロジェクトやフォローの方法としては、個別でのフォローは地域包括支援センターが行ない、体験プロジェクトでは集団としてレクチャー等を行なえるとよい。また運営に支障がなければ、項目に該当してない方でも体験プロジェクトに参加できると良い

(2) フレイル予防事業3月17日講演会及び測定会について

【協議事項について】

平成30年3月17日に日本医科大学多摩永山病院にて、TFPPについて講演会と測定会を実施する。講師には大淵氏を迎える予定だが、挨拶や司会進行、フレイル予防検討チームのメンバー紹介等について委員の出席をお願いしたい。また、講演会のタイトルについてご検討いただきたい。

【協議内容】

- ・挨拶については、日程が合えば明石委員長が行なう。司会進行は高齢支援課長に行なってもらいたい。測定の進行は永吉氏が行なうこととする。フレイル予防検討チームのメンバー紹介については、予定の合う委員が参加することとする
- ・講演会のタイトルは、TFPPやフレイルという言葉が入ると良い。タイトルは、「はじ

めよう！TAMAフレイル予防プロジェクト(TFPF)」とする

その他

- ・平成30年1月27日唐木田菖蒲館でTFPF測定会を行なう予定である。ファーストとセカンドチェックを両方やることで、両測定の結果の検証ができるようにする
- ・TFPFについて第7期多摩市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(平成30～32年度)に掲載する。現在パブリックコメントを受付中。平成30年3月末頃に決定する予定である

次回の予定(平成29年度第6回)

平成30年3月29日(木) 15時から 市役所4階401会議室

— 了 —